



上越総合病院 地域連携センター便り

2018
1月号



あけましておめでとうございます 本年もよろしく願いいたします



地域の期待に応えられる看護を目指して

平成30年元旦

看護部長 松岡 富紀子

新年明けましておめでとうございます。

平成30年の年頭にあたり、新春のお慶びを申し上げますと共に、旧年中の看護部の活動に對しまして、温かいご協力、ご指導を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

さて、平成29年度は、当院にとりまして、大きな節目の年となりました。4月には、院長が交替され、新体制となり、今までの伝統を継承しつつ、時代の変化に迅速に対応する新たな体制となりました。また、今年度は地域連携センターの機能拡充を図り、地域との連携を進める姿勢を鮮明にし、地域の皆さまの期待に応える病院とすべく、体制を新たにいたしました。看護の現場では、超高齢化の進展に伴い、看護職の果たす役割も地域の特性に合わせ、変化の必要性に迫られております。新潟県の高齢化のスピードは、全国平均を超えており、その中でも上越地域は、県平均を更に上回っている状況です。

それに伴い認知症の方の増加が懸念されます。病院では、多職種との連携を図り、認知症の方やそのご家族の方々へ適切な医療を提供できるよう、認知症に対する知識と理解を深める努力をしております。その中で患者さんの自立を妨げることなく、安全に安心して療養していただけるよう、院長のリーダーシップのもと、看護職だけでなく、多職種が知恵を出し合い、チームで取り組む風土が根付いていることを心強く感じているところであります。このように今後も社会状況に対応し、チームとして看護の役割を果たせる看護職を育成し、地域の皆様の期待に応えられるよう努力してまいります。

平成30年度は、診療報酬と、介護報酬の同時改定が予定され、今後の医療、介護施策において極めて大きな節目になると言われており、病院経営にとりまして、大変厳しい内容であると予想されます。一方では、今後ますます看護職が不足することが想定されております。新潟県の人口に対する看護師比率は、全国平均を若干上回っておりますが、新潟市など都市部を中心に顕在化の傾向があり、上越地域では、県平均を下回る比率と予想されております。そのような中、地域医療構想の推進、地域包括ケアシステムの構築等社会情勢の変化の中で、看護職への期待は高まるところであります。

地域の皆さまからの「ありがとう」の言葉等にやりがいや誇りを感じ、地域の皆さまに安全で質の高い医療を提供していくために、看護職の育成および働き続けられる環境基盤を作っていくことに力を入れてまいります。そのために、地域の皆様や関係者など広く連携の輪を広げ、お互いに支え合う、助け合う体制を構築していく所存であり、引き続きの皆様方のご協力、ご指導をお願い申し上げます。

最後になりますが、新年が皆様にとりまして、よい年となりますことを祈念申し上げ、年頭のあいさついたします。

医療機関様からのご紹介・お問い合わせは

上越総合病院 地域連携センター

電話 025-524-3000 (代表)

FAX 025-524-3140 (直通) まで



診療報酬改定の年

医事課長 近藤 俊樹



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。
また旧年中は当院に格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、2018年は6年に一度の医療・介護同時改定の年であり、今現在(2017年12月12日)では薬価引き下げにより全体ではマイナス改定、本体部分は小幅のプラス改定との情報が出ており、医療・介護に携わる人たちにとって何かと慌ただしい年になることかと存じます。ただし、2025年に向けて国が推進している『病院・病床の機能分化と連携の推進による効率的かつ質の高い医療提供体制の構築』と『地域包括ケアシステムの構築』という2つの大きな方向性は変わらないと考えられます。

それを見据え当院では、地域連携センターの強化に取り組んでおります。組織体制や多職種によるサービス提供体制、病-診連携・病-介連携・病-病連携の強化、また地域連携センター専従看護師や医療ソーシャルワーカーによる円滑な入退院支援、医療ソーシャルワーカーによる様々な相談支援、事務職による診察予約手続きに関わる支援等を充実させることにより、安心と信頼の医療の提供をこれまで以上に進めてまいります。

上越地域の発展に少しでも貢献できるよう、より一層尽力して参りたいと存じますので、本年もご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度イノベーションレクチャーが開催されました

11月8日、日本アドラー心理学会顧問の岸見一郎先生から「嫌われる勇気」そして「幸せになる勇気」～相手の期待に応えない勇気を持つ～と題して、アドラー心理学の考え方や活かし方についてご講演いただきました。124名の参加者は、嫌われることを恐れず、ありのままの自分を受け入れ、過去を捨て未来に向けてポジティブに生きようという先生の言葉の数々に耳を傾けていました。

薬剤部 奥井 美加子



新任医師 紹介



小児科 田中 真奈

出身地：新潟県
出身大学：秋田大学
趣味・特技：食べること
抱負：

子供たちの健やかな成長・発達のお手伝いができるよう尽力致します。
ご指導よろしくお願い致します。



整形外科 片岡 大往

出身地：福井県
出身大学：福井大学
趣味・特技：バレーボール・ウエイトトレーニング
抱負：

上越に10月より赴任しました片岡です。
少しでも地域の皆様のお力になれるよう精進致します。
よろしくお願い申し上げます。



地域の介護施設さまとの交流会を開催しました

12月13日に上越市と妙高市の特別養護老人ホーム、老人保健施設の相談員様および看護師様を対象に交流会を開催しました。前日からの悪天候でお足元の悪い中、総勢47名の方々からご参加いただきました。

交流会は講演と意見交換会の2部構成で、当院の総合診療科部長の大堀医師より「高齢者医療に必要な施設－病院連携～異なる立場からの終末期の考え方の相違～」というテーマで施設職員と病院職員の高齢者に対する認識の違いや終末期医療の考え方について講演いただきました。

意見交換会は少人数のグループに当院の職員も参加しフリートーク形式で行いました。参加していただいた多くの皆様から当院職員や他



施設の方々と意見交換ができた有意義な機会だったと感想をいただきました。また日頃、当院と施設さまとの連携のなかで改善点等のご指摘もいただきました。皆様からのお言葉を真摯に受け止め、これまで以上に質の高い連携がとれるよう取り組んでいきます。今後もこのような交流会を企画し、皆様と関係を深めていきたいと思いをします。



地域連携センター 医療ソーシャルワーカー 今井 一徳

第7回 長野・上越パートナーシップ カンファレンス



12月15日当院2回講堂にて第7回長野上越パートナーシップ・カンファレンスが行われました。

今回は長野赤十字病院 病院長 吉岡二郎先生 副院長 青木由美子先生らをお招きしBSC(バランススコアカード)を既に導入している長野赤十字病院の戦略経営についてお話を頂戴しました。BSCの取り組みについて貴重なお話をお聞きし、また学ぶことも出来た講演会となりました。今後も長野上越パートナーシップをより深めて両病院の交流を引き続き継続していきます。



内 科	呼 吸 器	外 山 譲 二	外 科	乳 腺 外 来	藤 田 亘 浩
	呼 吸 器	月 岡 啓 輔			伊 達 和 俊
	呼 吸 器	竹 内 寛 之			小 出 則 彦
	消 化 器	佐 藤 知 巳			藤 田 加 奈 子
	消 化 器	合 志 聡			平 島 浩 太 郎
	消 化 器	鈴 木 庸 弘	呼 吸 器 外 科		尾 嶋 紀 洋
	消 化 器	禿 晃 仁	脳 神 経 外 科		江 塚 勇
	消 化 器	佐 藤 毅 昂			荒 川 泰 明
	腎・糖 尿 病	亀 田 茂 美		非常勤医師	亀 山 茂 樹
	腎・糖 尿 病	米 沢 正 貴	産 婦 人 科		相 田 浩
内 科 (非常勤医師)	腎・糖 尿 病	上 野 光 博			小 幡 宏 昭
	糖 尿 病 内 分 泌	笹 岡 利 安			廣 井 威
	糖 尿 病 内 分 泌	岡 部 圭 介			奈 良 本 葉 月
	血 液	野 村 憲 一	耳 鼻 咽 喉 科	非常勤医師	高 倉 大 匡
	和 漢	藤 本 誠		非常勤医師	阿 部 秀 晴
	和 漢	野 上 達 也	眼 科		佐 藤 昭 一
	呼 吸 器	清 水 夏 恵			阿 部 慎 也
総 合 診 療 科		大 堀 高 志		非常勤医師	平 島 み ほ
		麻 生 祐 嗣		非常勤医師	東 條 直 貴
		今 西 明		非常勤医師	三 原 美 晴
		近 藤 優 美		非常勤医師	宮 腰 晃 央
循 環 器 内 科		籠 島 充	整 形 外 科		渡 部 公 正
		長 谷 川 智 也			相 場 知 宏
		中 澤 峻			片 岡 大 往
		西 脇 湊		非常勤医師	東 條 猛
神 経 内 科		福 原 信 義		非常勤医師	金 森 昌 彦
		鈴 木 隆		非常勤医師	元 村 拓
	非常勤医師	春 日 健 作	泌 尿 器 科		里 見 定 信
	非常勤医師	徳 武 孝 允			安 川 瞳
	非常勤医師	小 松 潤 史		非常勤医師	渡 部 明 彦
	非常勤医師	畠 山 公 大	救 急 科		丸 山 正 則
	非常勤医師	赤 木 明 生			朝 日 丈 尚
小 児 科		土 谷 修 一	麻 酔 科		加 藤 晋
		田 中 真 奈			加 藤 麻 紀 子
	非常勤医師	雅 楽 川 隆	放 射 線 科		加 藤 洋
皮 膚 科		竹 上 與 志 昌	病 理 診 断 科		関 谷 政 雄
歯 科 口 腔 外 科		桑 原 徹	検 査 科		巻 渕 隆 夫

早朝検査の実施について（予約患者様のみ）

当院では、外来患者様の待ち時間を短縮する取り組みとして、検査の受付時刻を従来の8時30分より30分早めて行っております。それにより患者様にはスムーズに診察を受けて頂けると考えております。